

新東名・東名の役割分担が明確化

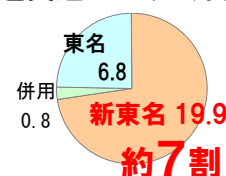
- ・静岡県内の通過交通の約7割は新東名を利用し、県内移動の約8割は東名を利用、新東名と東名の役割分担が明確化
- ・新東名の大型車の平均移動距離は約310km、東名は約190→140kmに減少し、東名の通過交通が新東名に転換
- ・東名の大型車の平均交通量は、開通前に比べ減少(2.7→1.4万台/日)
- ・新東名は道路線形がよく、東名に比べ燃費が7%向上



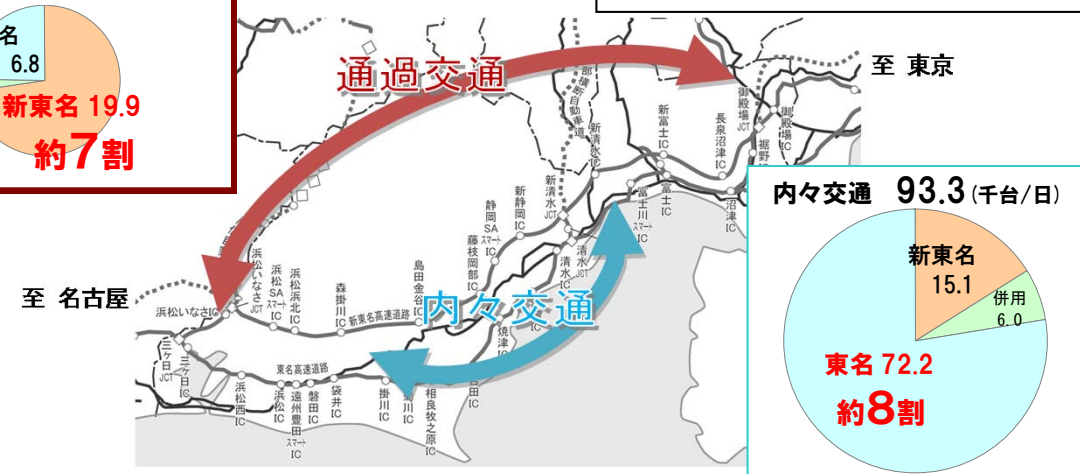
■新東名と東名の役割分担の明確化

静岡県内の通過交通の約7割は新東名を利用し、県内移動の約8割は東名を利用
新東名と東名の役割分担が明確化

通過交通 27.5 (千台/日)



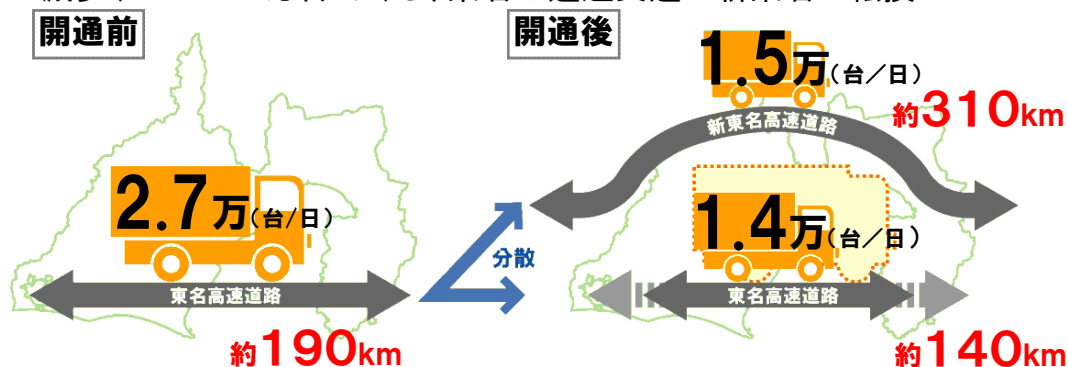
-凡例-
◆内々交通: 御殿場JCT～三ヶ日JCT間のICどうしの利用交通。
◆通過交通: 御殿場JCT～三ヶ日JCTを通過する利用交通。



出典: 中日本高速道路㈱ 高速道路利用データ
開通後: H24.9.1 (土)～H24.9.30 (日)

■大型車平均交通量と平均移動距離の変化

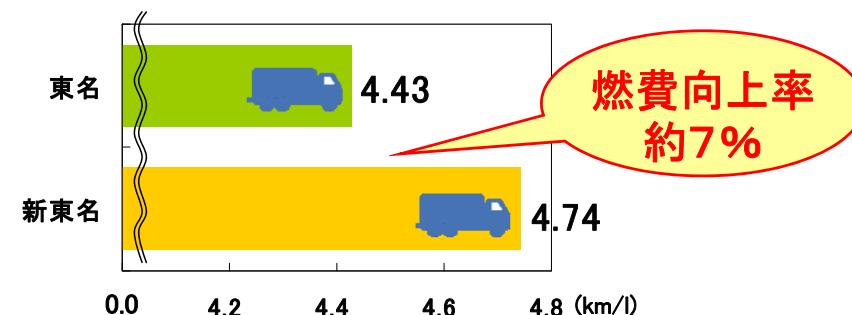
新東名の大型車の平均移動距離は約310km、東名は約190→140kmに減少、また東名の大型車の平均交通量は、開通前に比べ減少(2.7→1.4万台/日)し、東名の通過交通が新東名に転換



出典: 中日本高速道路㈱ 高速道路利用データ
開通前: 平成23年11月12日 (土)～平成23年11月18日 (金)
開通後: 平成24年11月 3日 (土)～平成24年11月 9日 (金)

■燃費比較

東京～名古屋間の利用時、新東名は、東名に比べ約7%燃費が向上



(社)全国物流ネットワーク協会が調査を実施・調査期間: 平成24年3月及び4月
・調査方法: 数社のサンプリング調査・対象車両: 東京IC～名古屋IC間の直行便トラック